

長い歴史を閉じる学校



校長
佐竹 宏子

明治35年創設



幕別町立途別小学校

1 学校の歴史

明治35年に途別簡易教育所として開設され、途別尋常小学校を経て現在の途別小学校に至るまで1600余名の卒業生と共に、栄えある歴史と伝統を刻んできた。しかし、近年の児童数の減少により、効果的な教育環境を維持することが難しくなり、令和7年度末をもって124年の歴史に幕を閉じることとなった。

2 特色ある教育活動

(1) 稲作

途別地区では、十勝開拓の祖「依田勉三」が米作りを成功させて以来、代々米作りを行ってきた。昭和の減反政策により、畑作に転換していく中で、稲作の灯を消したくないという地域の熱い思いを受け、校地内に7アールの水田を作り40数年間にわたり生活科と総合的な学習の時間の中で稲作を行ってきた。田植えから稲刈り、脱穀、精米を行う一連の学習は、12月の餅つき



集会でフィナーレを迎える。餅つきは、子どもたちにとって1年の中で最も思い出に残る行事である。

(2) とべつ子ミュージック

歌を通して、自らを表現すること、豊かな感性の涵養に期するという目的で3年前より始まった。子どもたちの透き通る歌声が校舎中に響き渡り、学び舎に彩りを添えている。今年度の人気No.1ソングは「幕別町歌」である。声高らかに町歌を歌いながら廊下を歩く子どもたちの様子が何ともほほえましい。



3 閉校に関わる行事

(1) 閉校記念事業

協賛会事業部が、閉校記念看板の

作成並びに設置、閉校記念Tシャツの作成、幕別夏まつり花火大会観覧、かちまい花火大会観覧、気球体験、トマムスキー学習等を執り行った。

(2) 閉校記念式典及び借別の会

令和8年2月7日(土)本校体育館にて、来賓、同窓生、保護者、子どもたち等が一堂に会し、閉校記念式典及び借別の会を執り行い、学び舎との別れを惜しんだ。

